

## 基本目標 Ⅲ

# ふるさとを想う 教育・文化のまちづくり

基本施策	個別施策
1 学校教育等の充実	1 幼児教育の充実
	2 義務教育の充実
2 生涯学習社会の構築	1 生涯学習の振興
	2 スポーツ・レクリエーションの振興
	3 文化芸術の振興
	4 青少年の健全育成

個別施策1

## 幼児教育の充実

### 現状と課題

幼児教育においては、小学校教育への円滑な移行を図るため、就学前教育施設との連携に努める必要があります。

また、幼児が望ましい環境の中で、様々な体験を通じて健やかに育つよう、保育園や認定こども園、家庭、地域との連携に努める必要があります。

### 基本方針

- すべての子どもが適切な幼児教育を受け、小学校教育へ円滑に移行できるように、保育園・認定こども園、小学校など関連する教育機関との相互連携に努めます。

### 具体的施策

#### 1 幼児教育の総合的な振興 ..... 担当課: 学校教育課

方向性

- 交流事業をととして、相互の教育内容の共通理解や指導方法の工夫改善を図ります。

指標

指標名	実績値(平成30年度)	目標値(令和6年度)
交流事業の実施回数 (幼・保・小連携教育の推進) (年当たり)	1回	2回

## 個別施策2

## 義務教育の充実

## 現状と課題

児童生徒が必要な資質や能力を身につけ、たくましく生きていくためには、学校や家庭・地域社会がそれぞれの教育力を発揮し児童生徒を育成していくことが大切です。特に、いじめや不登校、自殺などが社会問題となっている現状においては、「生きる力」を育むことは大変重要な課題となっています。

確かな学力を育む土台、心の居場所となる学年・学級づくりに努めるとともに、今後も小・中学校間の連携を図り、9年間を見通した教育活動を進める必要があります。また、学力向上には家庭学習も重要であることから、保護者の理解と協力を得ながら、家庭学習の定着を図る必要があります。平成30年に実施した中学生アンケートによると「北茨城市に魅力や誇りを感じている生徒の割合」は67.5%であったため、小学校も含めて今後も郷土教育の充実を図り、郷土に対する知識と理解を深める必要があります。

社会の変化に対応するため、ICT（情報通信技術）を活用した情報教育や理科・算数（数学）などの科学技術の発展に対応した教育、キャリア教育などにも力を入れています。また、令和2年度から小学校においても英語が教科化されることから、外国語教育に一層力を入れる必要があります。

特別な支援を必要とする児童生徒に対しては、一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導の充実を図っています。

学校再編については、北茨城市立小中学校再編計画に関する提言書を基に、保護者や地域の意見を聞きながら進めています。年々児童生徒数の減少が続き、今後も学校の小規模化が進むことが見込まれており、学校の適正規模化を進め教育環境の充実を図ることが望まれます。

学校給食については、給食センターの栄養教諭等が学校訪問による食に関する指導を行い、食育の推進に努めています。また、老朽化が課題となっていた施設・設備については、更新計画が進んでいることから、更新後の施設の運営方法について検討を進める必要があります。

## 基本方針

- 教職員の資質向上を図るとともに、学校・家庭・地域が協働して、一人ひとりが輝く活力ある学校づくりを目指します。
- 「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」をバランスよく育成するための指導に取り組めます。
- 児童生徒が、より良い環境の中で安心して学校教育を受けることができるように、小・中学校の規模・配置の適正化に配慮しながら、学校の再編や施設の改修改築を計画的に推進します。
- 学校給食については、衛生面や安全性に十分配慮し、栄養のバランスのとれた給食を提供するとともに、地産地消、食育や正しい食生活、健康づくりの推進に取り組めます。また、老朽化した給食センターの再整備やその後の運営方法の検討を進めます。

## 関連計画

計画名	北茨城市教育振興計画	平成23年度～令和2年度
計画名	学校施設長寿命化計画	令和2年度～令和11年度

## 具体的施策

### 1 学校教育の充実 ..... 担当課: 学校教育課

方向性

- 一人ひとりを大切に、心の居場所となる学年・学級経営の充実のため、教職員及び専門的な知識や経験のある人材による相談体制の充実に努めます。
- 豊かな心を育む道徳教育や職業体験などとおしてのキャリア教育などを推進し、生きる力を育みます。
- 国際感覚を育成する外国語教育などの充実に努めます。

指標

指標名	実績値(平成30年度)	目標値(令和6年度)
外国語指導助手の配置 (外国語活動の充実)小・中学校	8人 ▶▶	10人

### 2 確かな学力の定着 ..... 担当課: 学校教育課

方向性

- 学習効果を上げるため、各家庭での役割を明確に示すとともに、家庭学習の定着と質の向上に努めます。
- 確かな学力を身につけるため、主体的・協働的な学びを引き出す、小・中9年間を見据えた指導計画に基づく教育を推進します。

指標

指標名	実績値(平成30年度)	目標値(令和6年度)
家庭学習の実施率・小学生	87.9% ▶▶	90.0%
家庭学習の実施率・中学生	56.0%(学習塾含まず) ▶▶	90.0%(学習塾含む)
学力診断テスト正答率 (茨城県平均との比較)	-10.0% ▶▶	+2.0%

### 3 郷土教育の充実 ..... 担当課: 学校教育課

方向性

- 郷土教育を推進するため、「輝く北茨城(郷土教育手引き書)」を活用し、郷土の自然や文化にふれる機会を広げていきます。
- 郷土愛を育む学校づくり事業や郷土教育自由研究作品展を実施します。

指標

指標名	実績値(平成30年度)	目標値(令和6年度)
郷土教育自由研究作品展の 作品出展数	71.6 作品 ▶▶ (平成27~30年度平均)	80.0 作品 (平成27~30年度平均)

### 4 情報教育の推進 ..... 担当課: 教育総務課

方向性

- 新学習指導要領において、平成30年度以降の学校におけるICT(情報通信技術)環境の整備方針として、「コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を活用するために必要な環境を整え、これらを適切に活用した学習活動の充実を図ること」と明記されたことから、情報活用能力の向上のためにICT環境の充実に努めます。

指標

指標名	実績値(平成30年度)	目標値(令和6年度)
小・中学校の普通教室(各クラス)・ 特別教室への大型提示装置 (国が定める台数)の整備率	26.0% ▶▶	100%
小学校への実物投影機 (国が定める台数)の整備率	0% ▶▶	100%
1校1クラス分のタブレットパソコン の整備率	18.8% ▶▶	100%

**5 特別支援教育等の充実・推進** ..... 担当課: 学校教育課

方向性

- 障害のある児童生徒と、障害のない児童生徒がふれあい、ともに活動することにより、豊かな人間性を育成する特別支援教育の充実に努めます。
- 特別支援教育に対する理解と認識を深めるための啓発活動に取り組み、一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導の充実に努めます。

指標

指標名	実績値(平成30年度)	目標値(令和6年度)
特別支援教育支援員の配置数	25人 ▶▶	30人

**6 学校の適正規模・適正配置の推進** ..... 担当課: 学校教育課・教育総務課

方向性

- 小規模校同士が連携し、小規模校の課題の解決に向けて学校間連携チャレンジプランを進め、さらに効果的な活動とするために工夫改善に努めます。
- 保護者や地域の方の十分な理解と協力を得ながら、学校再編の実施を目指します。

指標

指標名	実績値(平成30年度)	目標値(令和6年度)
学校間連携チャレンジプラン事業実施回数(年当たり)	12回 ▶▶	12回
小・中学校の適正配置	16校 ▶▶	15校

**7 学校施設等の充実及び整備の促進** ..... 担当課: 教育総務課

方向性

- 耐震化未実施の磯原中学校校舎等の早期改築完了に向けて事業を進めます。
- 通学路における交通事情の変化や危険箇所等を把握するため、安全点検を実施し、危険箇所については関係機関と連携して改善に努めます。

指標

指標名	実績値(平成30年度)	目標値(令和6年度)
小・中学校施設耐震化率	93.3% ▶▶	100%

**8 学校給食の充実** ..... 担当課: 学校給食センター

方向性

- 児童生徒の健全な発達に資する学校給食を提供し、栄養の改善及び健康の増進に努めます。
- 給食センターの老朽化に対応するため、施設更新を図るとともに、更新後の運営方法について検討を進めます。
- 食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけ、健全な食生活を実践できるよう、家庭・地域・関係機関との連携、栄養士等の学校訪問等を通じて学校教育活動全体で食育を推進します。
- 子育て支援施策の一環として、保護者の負担軽減を図るため、給食費無償化を段階的かつ計画的に進めます。

指標

指標名	実績値(平成30年度)	目標値(令和6年度)
給食費無償化(達成率)	- ▶▶	100%

## 個別施策 1

## 生涯学習の振興

## 現状と課題

「北茨城市第3次生涯学習推進大綱」に基づき、「まなびすとアカデミー」や「まちの寺子屋事業」、「公民館活動」などを中心に生涯学習事業を展開しています。一方、市民アンケートの「各種講座等生涯学習の機会や活動に対する満足度」は横ばいであることから、今後、市民のニーズに的確に対応していくとともに、生涯学習センターや分館を活用し、市民の自主的な活動を積極的に支援し、生涯学習社会にふさわしい環境づくりを進めていくことが必要です。

青少年団体や女性団体などの社会教育関係団体については、生涯学習活動の推進役として、地域に根ざした教育・文化芸術の振興に大きな役割を果たしていることから、今後もこれら諸団体の円滑な運営を支援していくことが重要です。

平成28年6月に新図書館が開館し、ハード面では施設の充実により閲覧席が約270席提供できるようになり、快適な読書環境が整備されました。また、自動貸出機や、読書手帳用の印字サービスなどを提供しています。新図書館の開館によって、市民だけでなく市外からの利用者の増加が見られ、貸出利用者は旧図書館の約2倍となっています。今後も、利用者のニーズを把握し、サービスを提供することが必要です。また、学校等への団体貸出用資料や児童書などの充実を図り、子どもたちに良書を提供できる環境づくりにも努める必要があります。



図書館

## 基本方針

- 市民が生涯を通じて、自ら学び、生きがいをもって生活することができるように、地域に根ざした生涯学習活動や市民の自主的な学習活動を支援するとともに、多様な学習ニーズに対応できる学習環境づくりや生涯学習情報の提供に努めます。
- 新図書館の基本理念である「みんなが集う・暮らしに生きる市民の図書館」を実現するために、資料の充実を図り、高齢者から子ども、赤ちゃんをもつ保護者まで、幅広く市民が集まる施設として、心地よい読書空間を提供します。

## 関連計画

計画名

北茨城市第3次生涯学習推進大綱

平成23年度～令和2年度

## 具体的施策

### 1 生涯学習活動の推進 ..... 担当課:生涯学習課

方向性

- 生涯学習センター「とれふる」を生涯学習の拠点として活用し、地域に根ざした生涯学習活動や市民の自主的な活動を支援します。
- 生涯学習事業の体系的な推進を図るため、全市的な生涯学習推進組織である「まなびすとアカデミー」の拡充に努め、より多くの講座情報を市民に提供します。また、リーダーバンクに登録された指導講師の情報をホームページに掲載し、市民が自主活動を行うための一助とします。
- 市民の学習を支援する「まちの寺子屋」を引き続き推進します。
- 平和の尊さや戦争の悲惨さを若い世代に継承するために、原爆被害を受けた広島を小学生が訪ねる「ヒロシマで学ぶ平和への旅」を引き続き実施します。
- 生涯学習活動の推進役として、青少年団体や女性団体などの社会教育関係団体の運営を支援します。

指標

指標名	実績値(平成30年度)	目標値(令和6年度)
生涯学習センター「とれふる」利用者数(年当たり)	9,338人 ▶▶	11,600人

### 2 公民館活動の拡充 ..... 担当課:生涯学習課

方向性

- 市民に身近な学習の場や文化活動などの機会を提供するため、公民館において高齢者教室、女性学級、各種講座などを開催し、市民ニーズに即した公民館事業を推進します。
- 利用者の固定化の解消に努め、幅広い年代層を対象とした事業を推進するとともに、利用の少ない青少年や働く成人を対象とした事業の拡充を図ります。
- 市民の自発的活動を支援するとともに、学習情報の提供や学習相談機能の充実を図ります。

指標

指標名	実績値(平成30年度)	目標値(令和6年度)
各種講座参加者数(年当たり)	5,064人 ▶▶	5,300人

### 3 図書館の充実 ..... 担当課:図書館

方向性

- 利用者の要求に応えるために、新刊図書を積極的に購入し、蔵書の充実を図ります。
- 広く市民が足を運び利用できるように、心地よい読書の場、つどいの場としての環境整備に努めます。
- 図書館の立地を活かした特色ある取組みとしてのバードウォッチングや、新しい企画講座を行い新たな来館者の拡大を図ります。
- 利用者の利便性を高めるため、インターネットによる予約利用の拡大に努めます。

指標

指標名	実績値(平成30年度)	目標値(令和6年度)
図書館の貸し出し冊数(市民1人当たり)	5.99冊 ▶▶	6.3冊

## 個別施策 2 スポーツ・レクリエーションの振興

### 現状と課題

スポーツ・レクリエーションでは、大会イベントやスポーツ教室を開催することにより、施設利用の促進を図っていますが、今後は、子どもたちのスポーツ活動の入り口として期待されるスポーツ少年団の活動支援や指導者の養成、市民がスポーツを教わる・はじめる機会を提供し、市全体のスポーツ人口の増加に努める必要があります。また、スポーツ活動の推進組織である市体育協会について、自主的に各種スポーツ大会を運営できるように、組織体制の強化を支援する必要があります。さらには、市のスポーツ振興の指針となる「スポーツ振興計画」の策定も求められています。

施設面においては、平成30年度から指定管理者制度を導入し、管理運営を行っています。今後は、老朽化した施設の計画的な修繕や国体に併せて整備した施設の活用を図る必要があります。

学校体育施設の開放では、市内小・中学校で延べ130団体が施設を利用しており、ニーズが高くなっています。

### 基本方針

- スポーツ・レクリエーションの振興として市民の健康増進や体力づくり、相互交流を推進し、市民の誰もがいつでも気軽にスポーツ・レクリエーションを楽しめるようにスポーツ教室や各種スポーツ大会などの事業の充実を図ります。
- 市民が安全に利用できるスポーツ施設として、各施設とも計画的な修繕に努め、適切な管理運営を行います。
- 市内小・中学校のグラウンドや体育館の積極的な開放を実施し、スポーツ活動の場の提供を行います。



いきいき茨城ゆめ国体ソフトテニス競技会



## 具体的施策

### 1 スポーツ・レクリエーションの推進 (地域スポーツ活動の充実) ..... 担当課:生涯学習課

方向性

- スポーツ振興の指針となるスポーツ振興計画を策定します。
- 指定管理者に対し、適切な施設の維持管理やスポーツ教室の開催などスポーツ機会の提供を求めます。

指標

指標名	実績値(平成30年度)	目標値(令和6年度)
「(仮称)北茨城市スポーツ振興計画」の策定	-	策定

### 2 指導者の養成と体育協会等の組織強化 ..... 担当課:生涯学習課

方向性

- 指導者の養成、体育協会等の組織強化に取り組みます。
- スポーツ少年団については、活動の支援を行うとともに、種目を越えた連携の一層の強化を目指します。

指標

指標名	実績値(平成30年度)	目標値(令和6年度)
スポーツ少年団認定員の養成(認定員資格取得率)	62.6%	65.0%

### 3 スポーツ大会・スポーツ教室等の開催 ..... 担当課:生涯学習課

方向性

- 各協会、各行事と開催日程を調整し、引き続き各種大会やスポーツ行事の充実を図ります。
- 子どもから高齢者までが参加できるスポーツ教室や、ニュースポーツを取り入れた事業を引き続き開催し、市民がスポーツに参加する機会を提供します。
- 広報紙・ホームページを活用し、引き続き各種大会・教室の開催周知を行います。

指標

指標名	実績値(平成30年度)	目標値(令和6年度)
スポーツ大会の参加者数(年当たり)	5,250人	6,800人

### 4 体育施設の整備・学校体育施設の開放 ..... 担当課:生涯学習課

方向性

- 老朽化している体育施設については、利用者の安全確保のため、計画的な修繕に努めるとともに、管理運営については指定管理者と協議しながら万全を期します。
- スポーツ・レクリエーション活動を推進するため、身近な学校体育施設の開放などの利便性向上を図ります。

指標

指標名	実績値(平成30年度)	目標値(令和6年度)
小・中学校施設を地域活動のために開放している回数(年当たり)	5,078回	5,100回

個別施策 3

## 文化芸術の振興

### 現状と課題

芸術によるまちづくりとして、東京藝術大学と連携したワークショップや、市内外の芸術家の作品を展示する桃源郷芸術祭を開催するなど、市民が身近に芸術にふれる機会を提供しています。

平成31年4月にリニューアルオープンした歴史民俗資料館（野口雨情記念館）については、展示内容の充実等を図り、入館者の増加に努めることが必要となっています。

平成29年3月に国指定重要無形民俗文化財に指定された「常陸大津の御船祭」や、「大津町盆船流し」、「花園ささら」については、市内外に広く周知しているところであり、また、保存会への助成を行い継承に努めています。

令和元年9月に「十石堀」が世界かんがい施設遺産に登録され、今後は、「十石堀」の維持管理への支援を行うとともに、文化的価値を市内外に発信する必要があります。

埋蔵文化財に関しては、茨城県の文化財保護指導委員や埋蔵文化財指導員とともに巡視活動を実施し、その保護に努めるとともに、開発事業に際しては必要に応じて確認調査を行っています。また、市内の文化財や歴史・民俗資料については未解明な部分も多く、今後も調査を進める必要があります。

文化芸術活動については、市文化協会と連携して市民の自主的な文化・芸術活動を推進していますが、会員の高齢化が進んでいます。

### 基本方針

- 本市が有する芸術的な風土・資源を活かして、「芸術によるまちづくり」を推進します。
- 本市の豊かな歴史と文化を背景とした市民文化の醸成を図るとともに、子どもから高齢者まで多くの市民が気軽に質の高い芸術や文化にふれ、親しむことができる場や機会を創出します。
- 貴重な地域の伝統芸能・文化遺産が適切に保存、継承され、それらを活用したまちづくりを進めます。
- 市民の主体的な文化活動を支援するとともに、文化芸術団体の育成支援に努めます。

### 具体的施策

#### 1 芸術によるまちづくり事業…………… 担当課：生涯学習課

方向性

- 生涯学習センター分館である「期待場」を拠点に、市民に芸術活動の場を提供するとともに、桃源郷芸術祭など市民が身近に芸術に触れる機会を提供します。
- 岡倉天心や五浦の作家たちの業績を紹介している茨城県天心記念五浦美術館と連携し、市民に多くの美術鑑賞の機会を提供します。

指標

指標名	実績値(平成30年度)	目標値(令和6年度)
生涯学習センター分館「期待場」アトリエ入居率	60% ▶▶	100%
生涯学習センター分館「期待場」ギャラリー入館者数(年当たり)	7,244人 ▶▶	8,000人

**2 歴史民俗資料館の充実・活用** ..... 担当課:生涯学習課

方向性

- 平成31年4月にリニューアルオープンした歴史民俗資料館(野口雨情記念館)については、展示内容の充実に努め、入場者数の増加を目指します。
- 野口雨情など、本市ゆかりの人物の作品や、かつて本市の基幹産業であった炭鉱の資料など、郷土の歴史にかかわる資料の収集に取組みます。

指標

指標名	実績値(平成30年度)	目標値(令和6年度)
歴史民俗資料館の入館者数(年当たり)	18,459人 (平成29年度)	20,000人

**3 伝統・文化、歴史の継承** ..... 担当課:農林水産課・生涯学習課

方向性

- ホームページでの文化財や歴史に関するページの充実を図り、市内外へ本市の文化を発信するとともに、文化財マップ(冊子)の更新を行います。
- 野口雨情をはじめとする本市ゆかりの人びとについて、小・中学生が学び親しむことができるように授業などでの活用を促進するとともに、広報紙等を通じて市民への周知を図ります。
- 本市の貴重な伝統芸能・文化財の保存に対する支援を行い、次世代への継承に努めます。
- 世界かんがい施設遺産に登録された「十石堀」について、歴史的・文化的価値を発信するとともに、維持管理する取組みを支援し、将来への継承に努めます。

指標

指標名	実績値(平成30年度)	目標値(令和6年度)
文化財マップ(冊子)の更新	-	更新

**4 文化財の保護・管理** ..... 担当課:生涯学習課

方向性

- 埋蔵文化財については、地域開発事業との調和を図りながら調査、保護、保存に努めます。
- 指定文化財の保護・管理に努めるとともに、未指定文化財の調査を推進し、文化財の保護に努めます。

指標

指標名	実績値(平成30年度)	目標値(令和6年度)
歴史・文化的遺産の保存や活用に関する満足度(市民アンケート)	55.7%	60.0%

**5 文化芸術活動の振興** ..... 担当課:生涯学習課

方向性

- 芸術鑑賞号(バスツアー)をはじめ美術文芸展覧会、芸能発表会など市文化協会が実施する各種事業を支援します。
- 市民自らが開催する「雨情の里音楽祭」を引き続き支援するとともに、「野口雨情記念賞童謡作詩・俳句コンクール」の充実を図り、野口雨情の作品とその心を未来に引き継ぐため、童謡の魅力を市内外へ広く発信します。
- 各種文化芸術活動を展開している文化協会が、自主的に運営できるように引き続き助成を行うとともに、子どもから高齢者まで多くの市民が身近に文化芸術にふれる機会を提供し、文化芸術活動の活性化を図ります。

指標

指標名	実績値(平成30年度)	目標値(令和6年度)
芸術鑑賞号の開催数(年当たり)	3回	3回
北茨城市美術文芸展覧会の入場者数	1,908人	2,500人
北茨城市芸能発表会の入場者数	345人	400人

個別施策 4

# 青少年の健全育成

## 現状と課題

青少年による犯罪や児童虐待、子どもが被害者となる犯罪が多発するとともに、青少年の健全な育成を阻害する恐れのある有害な情報の氾濫が懸念されているところです。このような状況にあって、青少年の立場を第一に考え、次世代を担う子どもたちの安全・安心を確保することは社会全体が取組むべき重要な課題であり、本市では、青少年相談員、青少年健全育成市民の会、PTA、児童委員等の関係団体が密接に連携を取りあいながら、街頭巡回活動や有害ビラの撤去など青少年の健全育成に取り組んでおり、今後も継続する必要があります。

また、子どもたちが健全に育つためには、家庭での教育力の向上が求められています。

## 基本方針

- 青少年の非行を未然に防止し、心身とも健全で社会性を身につけた人間性豊かな青少年を育成するため、家庭・学校・地域間の連携強化に努めるとともに、地域ぐるみによる青少年の健全育成を推進します。

## 具体的施策

### 1 青少年健全育成の推進 ..... 担当課:生涯学習課

方向性

- 青少年相談員、青少年健全育成市民の会、PTA、児童委員等の関係団体の緊密な連携のもと、計画的かつ効果的に青少年健全育成のための施策を推進します。
- 地域や市民が一体となって、青少年非行の未然防止を図るため、関係団体の自主的な運営を促すとともに、青少年相談員を中心に、引き続き巡回活動を実施します。
- 「茨城県青少年の環境整備条例」に基づく店舗への立ち入り調査を行います。

指標

指標名	実績値(平成30年度)	目標値(令和6年度)
青少年相談員による街頭巡回回数 (年当たり)	247回 ▶▶	264回

### 2 家庭教育支援 ..... 担当課:生涯学習課

方向性

- 子育てに関する悩みや問題など、同じ悩みをもつ保護者がお互いに話しあえる「子育て体験トーク」を引き続き実施するとともに、事業の拡充を目指します。
- 子育て中の保護者を対象に、子育て講演等を開催し、家庭教育の支援・充実を図ります。
- 子どもたちの不登校や非行などの問題について、各家庭と連携しながら地域ぐるみで取組む組織の支援に努めます。

指標

指標名	実績値(平成30年度)	目標値(令和6年度)
子育て講演会の参加者数	111人 ▶▶	130人